

嘉川地域交流センター 完成
平成24年6月3日
（落成式挙行）

協議会会長 佐光 邦靖

嘉川地区をあげて待ちに待った地域交流センターが完成しました。

その落成式が市長以下市の関係者多数と市議会議員の皆様方を始め、地域からも各自治会長、各機関の代表者、地域づくり協議会関係者、さらに山口市南部川西地域の代表者等、百数十名のご参加を得て挙行されました。

まず渡辺純忠市長が、「嘉川地区は、地域づくり協議会を中心として様々な



落成式式典の様子



玄関正面

魅力と活力ある地域づくり活動が進められて、地域を高めていく意欲がうかがわれる。できあがったこのセンターを新たな拠点として、住民の皆様の話し合いの場として大いに活用され、地域の連帯をさらに深めて頂きたい。」とあいさつされました。

次に工事経過として、「新センターは、昨年から地元地権者のご理解を得て敷地面積を拡張し、総事業費5億円強で鉄筋コンクリート造りの2階建てで、旧センターの約2倍の広さに改築されました。中の部屋としては、行政と地域づくりの事務室を始め、大会議室、多目的室、研修室3室、調理室、和室、図書コーナーなどがあり、エレベーターも完備しました。ガラス張り吹き抜けや中庭など明るく開放的な空間もある近代的な建築となっていることや、

避難のための施設としてのシャワー室や太陽光発電装置も完備…」などの報告がありました。

続いて、市議会議長代理として氏永東光議員によるお祝いのあいさつの後、地域代表として私が「立派なセンターができて十数年来の念願が叶い感慨ひとしお。さらに安心・安全な住みよい嘉川づくりを地域一丸となって頑張つて参りたい。」と謝辞を述べました。

閉式後、一同は館内を一巡、ゆったり明るい空間の建築内容を見学しました。また、建築落成を記念して、「茜雲となって」と、「御伊勢山」の素晴らしい絵画が開館を祝つて寄贈展示されました。



地域づくり活動事業 平成23年度決算 及び 24年度予算

◆収入の部

単位:円

費目	H23決算	備考	H24予算
交付金及び助成金	11,090,485	山口市地域づくり交付金	11,956,000
	239,040	山口市社会福祉協議会	124,360
	900,000	地域交流センター活動推進費	900,000
	521	雑収入(利息)	0
合計	12,230,046		12,980,360

◆支出の部

単位:円

費目	H23決算	備考	H24予算
協議会運営費	2,579,128	事務局長給与、事務費	4,703,360
地域振興	1,344,707	地域づくり協議会広報(年2回)	1,213,000
		あいさつ運動(特集号印刷代、表彰費)	
		郷土学習と遺跡、史跡の顕彰と整備(標識他)	
		食生活改善と推進(材料費、備品購入)	
		登山コース、ハイキングコースの標示と整備(材料費、器具)	
		盆踊り(録画)	
		交流センター改築の推進	
地域福祉	465,505	見守りグループ活動	520,000
		生き生きサロン活動の充実(代表者会議開催)	
		子育て支援組織活動(資料作製費)	
		高齢者活動の推進(活動費補助)	
		生涯スポーツの推進(カローリング購入)	
		福祉活動計画見直しと重点計画(アンケート調査)	
		ボランティア活動の研修と推進(材料費、講師料)	
安心、安全	875,103	反射鏡設置事業	1,180,000
		高齢者ドライバー1日ドック(安全教室)	
		児童、生徒登下校時の安全確保(見守りブルゾン等)	
		地域防災活動(工事費)	
環境づくり	4,426,520	土木工事	5,164,000
		清掃活動、地域環境美化活動の推進(ベスト用具購入)	
		花いっぱい運動の推進(花苗、肥料配布)	
		桜公園の建設推進	
地域個性創出	963,026	子どもと高齢者世代間交流事業の推進(写真代、材料費)	200,000
		子どもと高齢者世代間交流による昔話の伝承	
		地域産品創出事業(日本酒「嘉穂の郷」製作)	
		古記録、古行事、古写真の収集並びに編集(センター内展示)	
		紙しばい創出	
合計	10,653,989		12,980,360

※収入と支出の差額1,576,057円については、助成元に返還

考えてみよう嘉川の防災

自治部会 竹本 憲治郎

東日本大震災以降、災害時には自分の身は自分で守る「自助」と自治会などによる互いに助け合う「共助」を核とする地域防災が主要な課題となってきました。

このためにはまず、日頃から自分達がどんな場所に住み、生活をしているのか、もう一度見つめ直してみることが必要です。そのうえで、嘉川を襲う恐れのある災害を想定し、どのようなことが起きるかを考えてみることで、そうして、嘉川の地域特性である山、川、海、ため池及び地層等を要因とするリスクや災害履歴等の調査、さらには地域の要援護者の把握などを行い、災害時の安全な避難行動に備えておくことが大切です。また、情報を伝達し、こうしたことを総括して推進する組織の立ち上げも当然のこと必要になってきます。嘉川地域づくり協議会においては、本年度から、こうした考えを基にみんなで嘉川地域全体の自主防災活動を考え、進めて行くことにしました。皆様方のご協力をよろしく申し上げます。

6月26日

地域防災活動について学習

前記のことを嘉川地域で具体化していく方法を学ぶため、役員研修会が開催されました。NPO法人「ぼうぼうネット」事務局長 山崎隆弘さんによる防災活動のすすめ方につ

いての講演、嘉川の地図に地域の災害発生場所や避難ルート、要援護者の搬送ルートなどを記入してマップを作成する、地域防災図上演習などを学習していきました。

地域づくり交付金の法定外公共物等整備事業について

建設部会事務局

法定外公共物等整備事業は、公有地の道路や水路について、自治会等が主体となり補修、改修を実施する場合に地域づくり協議会が費用を助成する制度です。

平成23年度には1箇所（道路や水路の補修、改修に助成を行いました）。



↑補修前(写真上)と補修後(写真下)

自治会で道路や水路の補修をお考えの場合はご相談ください。

禅定寺山登山を計画

まちづくり委員会 委員長 杉山 幾久

嘉川まちづくり委員会は、ふるさと嘉川を住みよいまちにするために、地域住民がまちづくりに参加するきっかけをつくる、という観点からも活動しています。皆様のご協力のおかげで3年目を迎えた嘉川のお酒『嘉穂の郷』づくりも順調に進めております。

新たに今年度は、嘉川自治連合会の方々、東本郷の方々が熱心に整備された『ふるさと山 禅定寺山』への登山を計画しております。

392メートルの高い山ですので、その山頂からは嘉川地域が一望できます。さらには、山口市街地、西は阿知須から宇部のまちまでも見渡すことができ、素晴らしい景色を堪能できます。嘉川地域の魅力を皆さんに再発見いただきたいと思っております。

ご家族友達を誘い合われて、ぜひご参加ください。

テーマ

ふるさと嘉川への私の想い

嘉川の魅力

高校二年 河崎未夏(福岡)

緑豊かな自然に囲まれている嘉川。私はちよつとした時間を見つけては散歩に出かけます。いつものコース。そこには、たくさんの鳥たちや虫の鳴き声や小川のせせらぎがあります。気分が沈んでいるときや、悩みや不安があるとき、嘉川の自然が私をいやしてくれる気がします。

畑仕事をしているおじいさんを見ると、私も頑張ろうという気持ちになります。すれ違ったおばあさんとの「こんにちは」のあいさ



↑秋穂側から藤尾山を望む
写真提供:福岡延子氏(北ノ江東)

嘉川の夢と希望

原田 幸政(上高根)

つで心がふわつと軽くなります。
このようなあたたかい人達の心と、豊かな緑があふれている嘉川。そんな嘉川が私は大好きです。
皆さんも忙しい日々の中、ちよつとした時間を見つけて、お気に入りの散歩コースを見つけてはどうでしょうか。
新しい発見や出会いが待っているかもしれませんよ。

嘉川に生まれ育ち、青春時代は夢を求めて都会生活(学生生活を含む)7年。その後、家庭の事情により再び「ふるさと嘉川」にお世話になることとなりました。

現役時代はほとんど地域との関わりが持たず、どちらかといえば避けていた私でした。現在、嘉川地区社会福祉協議会の地区理事の



↑地区民お楽しみの餅まき(嘉川文化祭)

一員ですが自省を含め、地域との関わり合いがいかに大切であるか痛感しています。地方に共通している少子高齢化は深刻な問題であり、特に嘉川において地域を支えるべき自治・福祉・ボランティア団体の人材不足は一つの課題です。

魅力ある住みよい嘉川づくりは、これからのシニア世代の人に希望を与えます。

その一つとして新山口駅に近い地の利を活かし飲食店を含めたショッピングセンター、皆が集える憩いの場の公園も考えられます。また皆で支え合う嘉川づくりは、高齢者の人に安心を与えます。

セカンドライフの一つとして一人一役の地域団体組織に参加をお願いしたいものです。

いきいき活動をめざして

団体およびサークル紹介

嘉川地域ではたくさんの方の団体やサークルがボランティアや趣味を生かし活発な活動をしています。これからも順次紹介する予定です。興味・関心のある方は、ぜひ活動にご参加ください。

みおつくしの会

会長 渡邊 あつ子

嘉川地区に、昭和60年にボランティア養成講座『水曜学校』の修了者及びボランティア活動に志を持つ者が集い『嘉川みおつくしの会』が産声をあげました。名称については「^{みお}浮州にそつて^{つくし}漕引舟が、漕を示しながら大船を港へ導く」から名付けられました。現在20名の会員で活動しています。

活動は、嘉川地区で77歳以上の一人暮らしの方へ会員の手作り作品をプレゼント。『まごころの家』『はるかぜの丘』に月1回の施設訪問をしてみなさんと七夕まつり、敬老の日、クリスマス会、体操、歌、ゲーム等をして楽しいひとときを過ごしています。市社協・地区社協活動への協力や、嘉川文化祭では鯛焼きを販売しています。

『無理をせずにできる範囲で活動する』を合い言葉に頑張っています。



嘉川文化祭での鯛焼き販売→

↓手作り作品のプレゼントづくり



嘉川遊陶会のあゆみ

徳永 博(市)

昭和49年、山口市で最初の陶芸グループ「嘉宝焼同好会」が、諸先輩により発足、嘉川公民館敷地内に、窯を築き陶作を始めました。昭和55年、嘉川公民館改築を期に、陶作業場が完成し、新しい陶芸窯が会員有志のご芳志で購入されました。

平成7年「嘉川遊陶会」と改称、広く地域の方々に呼びかけ、会員として加え、活力あ

る同好会をめぐし活動を続けています。

平成15年、会員の中から経験豊かな方を指導者として陶作に取り組み、地域活動に参加し、初心者教室、ふるさと学習、小学校卒業記念絵皿づくりなどを行っています。しかし、窯の老朽化が進み再三の修理も限界となりました。市によって、新陶芸窯の設置、作業場の改装をしていただくことができました。会員の喜びもひとしおで、

今後、さらに陶作活動を広め、一人でも多くの会員を迎え、地域活動に参加していきたいと思っ



↑ふるさと学習



窯入れした作品→

一年ぶりの図書室

嘉川読書クラブ

燦々と降り注ぐ光の中に、装いも新たに開館しました。帰ってきた本なのに輝いているようにみえます。といっても新センターでは図書館ではなく、「図書コーナー」と位置づけられていますので、部屋の扉もありませんし、自由に通り抜けができるようになっていきます。

もとの「嘉川ライブラリー」よりは、手狭で閲覧机も、椅子も窮屈そうに並んでいますが、明るさは抜群です。

読書クラブもまた、「図書コーナー」運営の一部を出来る範囲でお手伝いすることになりました。

貸出の「決まり」は以前と同じです。

1. 1冊ごとに貸出票に記入
2. 一人3冊まで
3. 貸出期間は2週間

但し、借りられる方は、改めて登録していただくことになりましたので、今まで登録しておられた方も登録をお願いします。

県立図書館からの借入が出来なくなりましたので、本の数が少なくなっています。

斬新で近代的でモダンではありませんが、広々とした図書館ではなく、明るさを調節することも出来にくく、読書クラブ独自の読み聞かせ方法だった「影絵」や「フラックシアター」など部屋を暗くしての物語世界の楽しみ方が難しくなってきました。

製作した作品も数ありますし、子どもたちも楽しみにしていた「おはなしのくに」への誘いをどうするか、どんな手法があるのか、あれこれ思いめぐらせているところです。

地域づくりに貢献

6月26日に
嘉川地域づくり協議会から表彰

◇長年にわたって学童の登下校を踏切や交差点で誘導・見守りを続けられました。

○山村 茂 様（上嘉川）

○倉増 清子様（福岡）

◇長年にわたって少年サッカー並びに野球の指導者としてスポーツ振興に貢献され、この程退任されました。

○田中 奨 様（幸の橋団地）

○深野 善夫様（寄江）



↑会長から表彰を受ける
深野善夫氏



←山村茂氏

嘉川ふるさと写真館

子どもたちを田園が子守？

こんな風景もあったなあと、懐かしく思い出される方もいるのではないのでしょうか。

古事記・古行事・古写真委員会では、引き続き写真や資料の収集を行っています。お持ちの方はご協力をお願いいたします。

問い合わせ先：嘉川地域交流センター（佐内）

TEL：9899-2018



編集後記

センター落成に伴い、新たな拠点を得たボランティアや生涯学習の団体・サークルを順次紹介する予定です。何か始めたい方の参考になればと願っています。「お願い」嘉川の魅力を伝える写真を掲載します。ご自身で撮られた自慢の写真（風景・まつり・行事等）をご提供ください。